

高額な引き出しに“詐欺では！”職員が連携し被害を防止

特殊詐欺被害を未然に防いだJA黒坂支所職員に感謝状が贈られる

架空請求の多額な詐欺被害を未然に防いだことが認められ、2月21日、JA黒坂支所で黒坂警察署から感謝状が贈呈されました。

今回感謝状を受け取ったのは、JA黒坂支所の佐伯恵支所長と、窓口業務にあたる加藤春奈さんの2人。高齢者の多額な引き出しに「詐欺では」と疑い、事情を聞き取り、引き出しを思いとどまらせ、詐欺被害を未然に防ぎました。

佐伯さんは「お客さまの財



大下署長（左）とJA黒坂支所の職員の皆さん（左から2人目が佐伯さん、左から3人目が加藤さん）

産が守れて良かった。警察の指導を受け、日ごろから多額な引き出しについては使途を聞かせていただいています」と話し、「根雨駐在所の岩佐さんが月に何度も立ち寄り、最新の詐欺手口について教えてください。ごささり助かります」と喜びました。

また、加藤さんは「仕事柄、詐欺のニュースは気になります。お客さまが被害に遭わなくてホッとしています。今まで以上に気を付けたいです」と笑顔を見せました。

不審な電話はすぐ切る！そして警察へ相談を！



黒坂警察署 根雨駐在所
いわさ けんたろう
岩佐 健太郎さん

金融機関などには、常日ごろから立ち寄り、防犯指導を行っています。

振り込め詐欺などは『特殊詐欺』と呼ばれ、2013年に全国の警察が把握した被害総額は約487億円にもなります。詐欺の手口は年々巧妙化しています。不審な電話を受けたとき、身に覚えのない手紙や商品が送り付けられたときなどには、まず警察へ電話し、相談してください。

また、鳥取県警察本部では『振り込め詐欺等被害防止コールセンター』を開設し、

皆さんが特殊詐欺などの被害に遭わないために、あらかじめ自宅に電話で注意を呼びかけています。よく話を聞き、被害防止に努めてください。

高額な金額の要求には注意が必要です。だまし取られたお金は、まず戻ってこないと思わないといけません。

詐欺に遭わないために最新の手口を知っておくことも大切です。地域の皆さんからご要望があれば、出かけて話をします。気軽に黒坂警察署や根雨駐在所にお電話ください。

▶相談などは、黒坂警察署（電話 74-0110）
根雨駐在所（電話 72-0053）まで



調査結果を分かりやすく説明する加地さん

奥日野の誇り 『たたら』の歴史をひもとく

▼たたらフォーラム2014

「伯耆・出雲のたたら経営」
その違いと、周辺圏域に及ぼした影響

かつて日本屈指のたたら製鉄の地だった奥日野の偉大な歴史を学ぼうと、3月2日、町文化センターを会場に、たたらフォーラム2014（伯耆国たたら顕彰会主催）が開かれました。

たたら研究に携わる専門家が研究結果などを披露することから、たたら歴史を地域振興に生かそうと活動している団体など、県内外から多くの人が訪れ、熱心に聞き入り

ました。

基調講演では、中国地方のたたら製鉄を研究する岡山県立玉野光南高校教諭の加地至さんが、戦前戦後におけるたたら研究の歴史を紹介したほか、中国地方の鉄生産の動向と特徴を説明しました。

パネルディスカッションでは、加地さんと国立松江工業高等専門学校教授の島谷智文さん、島根県教育庁文化財課企画幹の角田徳幸さんが、古

文書、遺跡などそれぞれの専門分野からたたら歴史をひもとき、「地元に残る資料を利用し、たたら遺跡をめぐるガイドブックの作製」「県を越えたたたら振興のネットワークづくり」など、たたら歴史・文化を生かす活用策が話し合われました。

また、同顕彰会の藤原洋一さんが、2年間にわたる奥日野のたたら製鉄遺跡分布調査について報告しました。



▲奥日野のたたら遺跡の調査結果を報告するたたら顕彰会の藤原さん（左）とすぎはらさん。
◀パネルディスカッションでは、人、古文書、遺跡といった各分野の専門家が、たたら顕彰会の佐々木会長と伯耆、出雲、石見の各地域のたたら歴史をひもといた。

